

## 卒業生

秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 卒業

秋田プライウッド株式会社  
品質保証課

澤木 美晴

## 高専で身につけた「自分の強み」で企業と社会を支えていく

Q1. どのような進路を決め、就活をどのように行いましたか？

自然が豊かで都会にはない温かさを持つ秋田県が大好きで、将来は地元で貢献できる仕事に就きたいと考えていました。高専4年時に当社のインターンシップに参加して合板生産量が日本トップクラスで地球規模の環境保護に貢献できるスケールの大きな会社が身近にあることを知ることができました。「地元で貢献したい」という自分の気持ちに正直に企業を選んだことが今のやりがいにつながっていると感じています。

Q2. 学生生活で力を入れたことは何ですか？

秋田高専の創造システム工学科・物質生物系で物質の化合のしくみや反応について学びました。4年生からは研究室に所属し、セルロース系の材料を開発するため、毎日実験に取り組んでいました。勉強はもちろんですが、部活動や文化祭、スポーツ大会などの学校行事にも仲間と協力して取り組むことで「チームとして成果を出す楽しさ」を実感することができ、充実した5年間を過ごすことができました。

Q3. 高専で学んだことは、現在の仕事でどのように活かしていますか？

品質保証課の仕事は合板の品質をチェックすることが主な内容です。研究室の実験・実習では仮説を立てて検証し、結果をもとに改善するというプロセスを繰り返したことが、今の仕事の土台となっています。現在の業務でも、問題点の原因説明や品質向上のために「なぜそうなるのか」「他に方法はないか」という試行錯誤を繰り返していますが、高専で培った論理的思考や粘り強さが役立っていると感じます。

Q4. これから就活に向き合う後輩にメッセージをお願いします

企業には様々な考えを持った人がいて、それぞれが熱意を持って自らの仕事に向き合っています。自分らしさを見つけて大切にしつつ、人の気持ちも受け入れられる柔軟さを持って欲しいです。どんな企業にも強みがあるので、強みが何かを意識して行動することが自身の成長につながります。就職活動も自分の強みを全面に出せば必ず伝わりますので、今一度自分の強みを再確認して、なりたい自分を目指してください。